

ケアセンターけやき

本橋 衛（営繕 / ドライバー）

功 績	常に率先して、ご利用者に楽しんで頂ける雰囲気作りを実践。「おもてなし」の心でけやきのブランディングに貢献を続けている功績。
推薦者氏名	事務営繕栄養科 主任：島山智貴
推薦理由	ご利用者さんに、いつも楽しくお越しいただきたい・過ごしていただきたい考えている職員です。玄関のお出迎えアートやスマートボールは、多くの笑顔を引き出しています。誰に言われるまでもなく、チームの一員として親身な対応ができる本橋さんの「おもてなしの力」を理事長賞に推薦いたします。

内 容

けやきに入職して9年、デイ・通リハの送迎ドライバー業務と、施設内の清掃や設備備品の修繕を担っています。また、けやきのイベント時には、毎回率先して準備や施設内の装飾をしてくれます。

本橋さんは手先が大変器用で、物品の修繕や作成を工夫を凝らして作業してくれます。今年の七夕に笹が手に入らなかった時、通リハ入口の大きなガラス窓にタッチペンで大きな笹を描いて、ご利用者さんがそこに短冊を貼って楽しんだのが始まりでした。大変好評だったので、それから玄関や風除室のガラス窓に、花火と東京の夜景、涼し気な朝顔などの季節のイラストをプロ並の腕前で描いてくれて、ご利用者さんや施設を訪れた方も見事なアートの出来栄に驚いています。今月は近づく秋を感じさせる草花と月見のイラストが描かれていて、ご利用者さんが送迎街の間、絵を指しながらなごやかに会話している姿をよく目にします。

また、今年のけやき納涼祭は、「地域と楽しむ」というコンセプトで、300名の方にお越しいただきました。本物の分封機を使ったキッズファーマシーやスカイリフトの体験コーナーなど、いろいろなブースを用意しましたが、その中でも大人気となったのが本橋さん手作りの2台の「スマートボール」でした。

最近では温泉街でも見かけることが少なくなっていますが、本橋さんがご自宅で廃用の段ボールを使って製作して持ってきてくれました。ゴムばね発射機や玉が沿って転がる弧の壁、絶妙な配置の木釘や流れを変える風車などを備え、大型のビー玉を打ち出す、段ボール製とは思えないほどの本格的な見事なものでした。

本橋さんは納涼祭の実行委員メンバーではありませんが、「今年の祭りは地域の子供たちに大勢来てもらいたいと聞いたから、自分も役立てることをしよう。夢中になって遊べる昔ながらのゲームで、子供たちに楽しんでもらいたい」と考えて、自発的に製作してくれました。当日は、子供たちの順番待ちの列が途切れることなく、一番人気のコーナーとなりました。実際の商品はありませんが、親や祖父母たちも加わって、「次はハワイ旅行を狙おう」とみんなが夢中になって楽しんでいました。

この「自分もやろう」という心意気は、まさにOurTeam精神の実践だと思います。